

どんぐりの森

もり

— 地域に残る豊かな自然 —



県道から見た亀山神社の森

きのう、おばあちゃんと妹の安子とどんぐりを拾いに行きました。

どんぐりの木がたくさんありそうな亀山神社に三人で向かいました。

長い石だんを登るとき、両側から

大きな木の枝がいっぱい出ていて、まるで深い森の中を行くようでした。

「ふうふう、はあー」石だんを登りきると、三人でいっしょに深呼吸をしました。緑をいっぱい吸い込みました。

境内に着くと、さつそくどんぐりを拾いました。あっちにもこっちに

も、丸いのや細長いのがいっぱいあ

りました。すぐに、袋がいっぱいになりました。

すると、おばあちゃんが、

「一郎、安子、ちよつとこつちに来てごらん。」

と、大きな声で呼びました。行つてみると、腕をいっぱいに広げても

とどかないくらい太くて背の高い、とても大きな木がそびえています。

周囲には、丸いどんぐりがいっぱい落ちていました。

「この木はね、イチイガシといつて

人間でいえば四百歳くらいなんだよ。すごいだろう。この森にはね。コバンモチやカンザブロウな

どめずらしい植物が百種類以上もあるんだよ。今では、^④緑地環境保全地域として広島県から指定されていてね、木を痛めたり切り倒したりしないようにみんなでこの森を大切にしているんだよ。一郎も安子も、今日はどんぐりがいっぱい拾えて良かったね。」と、おばあちゃんが話してくれました。時々、みんなで遊びに来る亀山神社だけど、昔からみんなが大切にしてきたから、こんな立派な森が残っているんだなと思い、どんぐりのいっぱい入った袋を見ながら、何だかうれしい気持ちになりました。

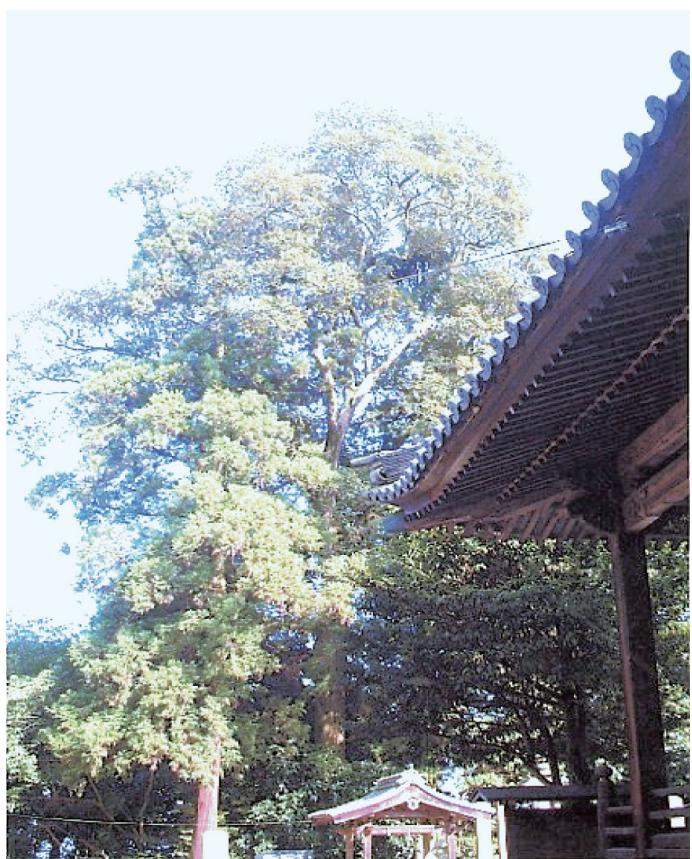
ぼくは、大きく深呼吸して、風に吹かれて揺れている辺りの木々をゆっくりと見回しました。

（注）
① イチイガシ：温かい所で育ち、巨大なものは高さ三十メートル、直径二メートルになる。

② コバンモチ：高さ十五～二十メートルになる。葉が餅や小判に似ている。

③ カンザブロウ：大きいものは十～十五メートルになる。冬になると、実が熟し紫色になる。

（注）
④ 緑地環境保全地域：自然環境を大切に守るために県が指定している地域のこと。亀山神社は、平成元年に指定された。



そらたか
空高くそびえるイチイガシの木